

リスクリング支援助成金の紹介



特定社会保険労務士 **大倉 昭治** (あらた経営労務事務所)
(中川法人会賛助会員)

2022年10月3日衆院本会議で岸田首相は所信表明演説で個人のリスクリング(学び直し)の支援に**5年で1兆円**を投じることを表明されました。

リスクリングとは、「Re-Skill-ing:再び、スキルを、身につける」という意味で、ビジネスで必要とされるスキルに注目して、そのスキルを獲得する(もしくは従業員に獲得させる)ことを意味します。

岸田政権はリスクリングを含む「人への投資」を看板政策である「新しい資本主義」の柱の一つに掲げています。

従来の日本型雇用は、企業内教育が中心のため、外部でも通用するスキルの取得が難しかった。しかし、近年はデジタルトランスフォーメーション(DX)やグリーントランスフォーメーション(GX)の進展などで、専門人材への必要性が高まっています。政府は新制度の創設で、生産性向上や成長分野への労働移動を促し、持続的な賃上げにつなげたい考えだと言われています。

リスクリングは経済産業省では2022年度補正予算案に753億円を計上。厚生労働省でも制度要求としてあげられ、2022年12月に人材開発支援助成金に事業展開等リスクリング支援コースが創設されています。

事業展開等リスクリング支援コースの内容

- ① 既存事業にとらわれず、新規事業の立ち上げ等の**事業展開**に伴う人材育成
- ② 業務の効率化や脱炭素化などに取り組むため、**デジタル・グリーン化**に対応した人材の育成に取り組む事業主を対象に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を高率助成により支援する制度です。

▶ 「事業展開」とは、例えば…

新たな製品を製造したり、新たな商品やサービスを提供すること等により、新たな分野に進出すること。このほか、事業や業種の転換や、既存事業の中で製品の製造方法、商品やサービスの提供方法を変更する場合も事業展開にあたる。

- 例：・新商品や新サービスの開発、製造、提供又は販売を開始する
- ・日本料理店が、フランス料理店を新たに開業する
- ・繊維業を営む事業主が、医療機器の製造等、医療分野の事業を新たに開始する
- ・料理教室を経営していたが、オンラインサービスを新たに開始する 等

▶ 「デジタル・DX化」とは、例えば…

デジタル技術を活用して、業務の効率化を図ることや、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する等し、競争上の優位性を確立すること。

- 例：・ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた
- ・アプリを開発し、顧客が待ち時間を見えるようにした
- ・顔認証やQRコード等によるチェックインサービスを導入し手続きを簡略化した 等

▶ 「グリーン・カーボンニュートラル化」とは、例えば…

徹底した省エネ、再生可能エネルギーの活用等により、CO2等の温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。

- 例：・農業の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した
- ・風力発電機や太陽光パネルを導入した 等

助成率・助成額

特徴は、①1事業所1年度あたりの助成上限額が、1億円

②経費助成 中小企業で、助成率75%、1人200時間以上の訓練で上限50万円

③賃金助成 中小企業で、1時間当たり960円

とそれぞれ、かつてない高額となっていて、政府の意気込みを感じます。

詳細は、<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/001019762.pdf> へ